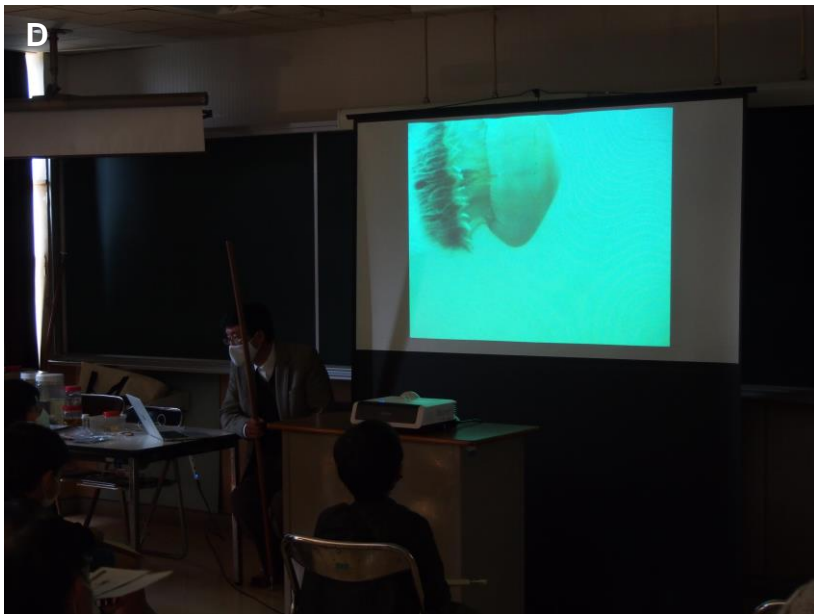
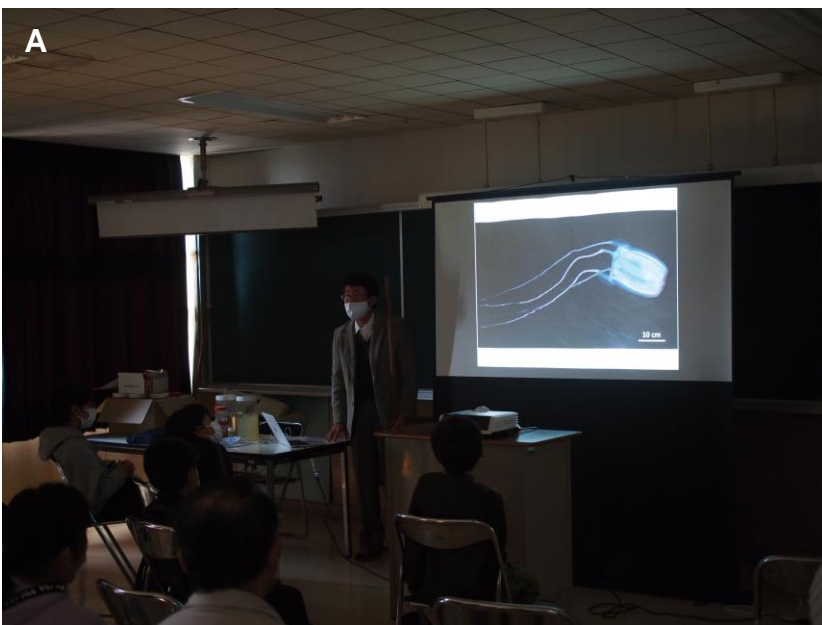


令和二年(2020年)11月15日(日) 「たけはら海の学校-第2回:クラゲって悪者?いいえ、ヒトのためにもものすごく役立っています-」が竹原ステーションで行われました。

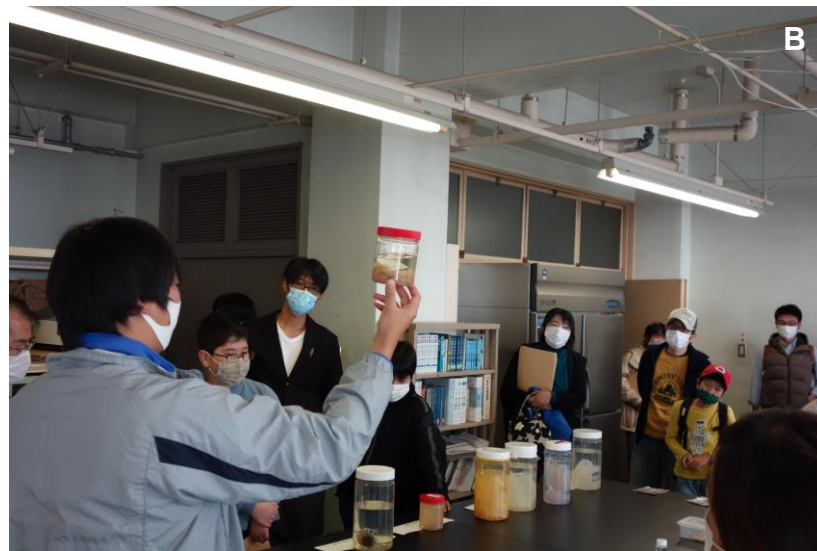


A: 竹原ステーションに来所する参加者と受付での検温等による新型コロナウイルス感染拡大予防対策の様子。 **B-F:** 大塚教授による講義風景 (B,C; 受付で配布された資料を手に講演を聴く参加者, D; スライドは大型クラゲであるエチゼンクラゲの遊泳を映した動画, E; スライドはクラゲに乗って移動するイセエビ類の幼生を紹介したもの, F; 講演中に回された標本を観察する参加者)。



A-C: 大塚教授による講演風景 (A; スライドは大型立方クラゲであるヒクラゲ, B; スライドはクラゲと魚の稚魚の共生を紹介したもの, C; 講演中に回された標本「クラゲとそのクラゲに共生していたアジの稚魚」を観察する参加者).

D-F: 講演終了後の質疑時間, 参加者から様々な質問が寄せられた.



A-C: 実験室でのクラゲ標本展示.

D, E: ミズクラゲ刺胞が発射される瞬間を顕微鏡モニター越しに観察する参加者ら (密を防ぐために、デモンストレーションは参加者を2組に分けて、それぞれ行った).

F: ミズクラゲのエフィラを実体顕微鏡を使って観察する参加者.



A, B: 観察会のために準備されたクラゲ類に関する書籍。
C: クラゲを長期飼育するための特殊水槽を紹介する近藤助教
D-F: 水槽施設とそこで飼育されている実験生物を見学する参加者。

* 本イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、適切に行われました。